

クラブカップ2009菅平の予告ビラです

Newsletter from Genesys Mapping Vol.2

発行 2009.6.17

6/7東大大会会場にて、本年のクラブカップについて、現時点でお知らせできることについてご案内を致しました。本ビラは、そのweb用再掲版です。月末までに、正式要項公開できるようがんばります。それまでの暫定情報として公開します。「大会専用掲示板」にて細かいところまで質問なども受付、随時回答をしていますので幹事さんはこまめにのぞいて見てください。

大会日程とメニュー 2009シルバーウィークは菅平高原で！

9月19日(土) ダウンヒルミドル・オリエンテーリング 超高速で駆け抜けろ！

主催:ジェネシスマッピング(株)・長野県オリエンテーリング協会
会場:未定。シュナイダーゲレンデ または 裏ダボススキー場(菅平高原)
地図:1:10,000 等高線間隔5m

9月20日(日) クラブカップリレー 今年は全クラス縮尺1:7500です。

主催:ジェネシスマッピング(株)
会場:菅平牧場芝牧地区「野口みづきクロスカントリーコース」基点
スタート時刻:クラブカップ9:30 ベテランカップ9:40
会場への移動方法
菅平牧場→会場:シャトルバス、または山道徒歩15分
菅平宿所→菅平牧場:宿からの送迎

9月20日(日)夜 ナイトミノロゲイン

主催:菅平OLC
会場:シュナイダーゲレンデスキーハウス(菅平高原)
スタート時刻:18:00一斉 フィニッシュ19:00

9月21日(祝・月) ロゲインニング菅平2009 3時間の部

主催:ロゲイン実行委員会
会場:シュナイダースキー場(菅平高原)
10:00一斉スタート

9月22日(祝・火) ロゲインニング菅平2009 12時間の部

主催:ロゲイン実行委員会
会場:白樺荘前
5:30一斉スタート(案)



会場となる芝牧地区、野口みづきクロカンコース

9月21日(祝・月)-22日(休・火) 松塾(オリエンテーリング塾)

申込期間 7月1日～8月31日 ロゲインの申込期間と同じです

宿泊について(有料の観光牧場入場について)

宿泊申し込みはすでに始まっています。5連休中のすべての宿泊について承っております。専用のwebページからどうぞ

まだ人数が確定しないという方も多いでしょう。予約金を先に納める方式も加えましたのでご利用下さい。宿泊申し込みは幹事さんベースでお願いします。幹事さんが同じなら1通の申込でOKですが幹事さんが違う場合はそれぞれの幹事さんを通して複数の申込をしていただくこととなります。宿も説明していますように、移動していただくことを

前提に計画を組んでいます。クラブカップ後のクラブ宴会にも対応していただくようお願いしています

宿泊オーダー用紙にその書いて、個別にご相談下さい。

大会専用宿泊申込をしていただくと、クラブカップ会場の駐車場までのバス送迎がついています。

ここを通さない宿泊、及び日帰り参加の方は、牧場駐車場より下方の料金所ゲートのところの臨時駐車場で車を止めていただき、そこから歩いて上ってきていただくこととなります。

牧場駐車場から競技会場である芝牧までは、宿手配をしているかどうかに関わらず、シャトルバスもしくは徒歩による移動となります

尚、観光牧場入場料はすべてのステージで参加費に含める設定で行います。

なので、応援だけでオリエンテーリングをしない方(参加費をお支払いいただいていない方)は、正直申告で、料金所ゲートで入場料(1人1日200円)をお支払い下さい。

クラブカップスタート時刻

連休中の滞在型プランが可能なことから、例年よりスタート時刻を繰り下げます

前述のように、競技会場までの移送を宿のスタッフの方をお願いするので、そうそう

早いスタート時刻の準備に対応できないという事情もあります。

また、クラブカップ後も、是非もう1泊菅平に滞在していただき、という思いもあります。

クラブカップスタート:9:30

ベテランカップスタート:9:40

申込区切りとe-cardレンタル

色々なメニューを用意し、e-cardなどはその間ずっと持っていただいても良い参加の仕方に致します。その区切りは、3時間ロゲインまでになります。つまり、3時間ロゲインはオリエンテーリングの方で、一連の参加として申込こともできますし、ロゲインのページから、申し込むこともできます(エントリー開始はロゲインの方で案内していますように7/1からです。)6時間、12時間ロゲインに参加する方は、その方がオリエンテーリングの最初の方の種目から参加し続けているにしても、いったん区切って、6時間ロゲイン、12時間ロゲインの申込は別途、ロゲインのページから行ってください。逆にオリエンテーリングだけの人は、単独のイベント毎の申込用紙はなく、単独でも複数イベント参加でも統一した申込用紙を使っていただくこととなります。e-cardについては、「通しレンタル」と「スポットレンタル」の2種のパタンを用意します。スキー場のリフト券の「1日券」と「1回券」のイメージです。「通しレンタル」は500円で、最初のダウンヒルミドルから、3時間ロゲインまで最大有効、ただし、申込時に借出し時期、返却時期を申告していただきます。「スポットレンタル」は300円、イベント毎のレンタルで、イベント毎に貸し出しを行い、その場で返却いただきます。カテゴリ分けは、IDシールの色を変えるなどして、判り易くなるようにして対応します。クラブカップリレーでは、例によって使いまわし方式も可能です。(チームで3枚が基準です。だれがどのカードを使っても良い方式)また、すべてのステージにおいて、マイカードは使用可能です。

初日ミドルについて

完全にアップゼロというわけにはいきませんが、出来る限り最高所のところまで上がってそこからひたすら下る、というスピードに乗ったナビゲーションを課すオリエンテーリングになります。スタートまで徒歩によるスタートの移動の手段は、テープをつける手間が大変な量になるところまで上がってもらうことにしたので、全員もれなくバス輸送にしました。それと、大渋滞が予想される日の競技ですので、スタート時刻再指定のサービスを行います(なので、公認大会に出来ませんでした)。そのほかにも、せっかくの機会なので公認大会では出来ないような斬新な仕掛けを用意しようと企んでいます。



颯爽と駆け下ることができるミドルトレイン

クラブカップの地図縮尺についてと区間配分について

夏季に放牧していない場所(牛さんがいない場所)が実はとても狭いのです。なので、全クラス7500分の1で行う方向で考えています。地図サイズはA4です。その範囲で、何度もループするコースを設定するので、7500分の1にしないとコース地図が読みきれないという事情もあって、全クラス7500分の1にします。取捨選択の基準も、十分判読可能な程度をもう少し小さめのものまで下げて、より洗練されたナビゲーション能力を問う形で戦いの場を提供していこう、という方向で準備しています。正確な地形読み、方向感覚などを磨いて来られますよう。全域、オープンおよびセミオープン地域での競技となりますが、コントロールを隠すことはしません。しかし、ちゃんとナビしないといけないような細かな地形や植生の場所にもコントロールをおきます。その基準が



競技の主戦場はこのようなセミオープンとの混在

10000分の1と7500分の1とは許容度が違うよね、という感想を下見して持ちました。トレインが狭い分、6・7ではループを多用します。基本ループを3本、それとは別に最終周回ループを用意して、6走は1ループ+最終ループ、7走は2ループ+最終ループと構成になります。それで、7走が例年通りのウィニング45分~50分設定で行いますので、ループの構成上1ループ+最終ループをもってしても、6走は例年より少し軽めになってしまいます。(せまいトレインでリレー競技を行おうと設計するときの必然性で説明できますでしょうか?)6走の役割が少し軽くなる分は、1・2走を少しだけ重く(難しく)する方向で考えています。また、3走では必ず道から見える場所に置く、2ループで途中で選手交代もあり。5走もオリエン部分を比較的簡単にして、2ループで途中交代もありは昨年と考え方を踏襲します。

選手起用の戦略含めて、よく準備して来られますように。セミオープン基調のトレインで幾度と無く見えたり点在する森や藪に隠れたりしながら何周回もする競技になりますから、クラブカップ史上、もっとも応援のやいがいのあるレースになることは間違いありません。

(山川 克則)